

9月2日(土)会議室内海(水道橋)にて開催された。参加者数は23名(非会員3名)。
テーマは「においシミュレーター活用の可能性を考える」であった。悪臭防止法における第2号規制値を求めるためのツールとして環境省が「においシミュレーター」ソフトを公開している。これを周辺環境の予測や脱臭対策の検討等に利用した経験がある会員の方にその事例を説明していただき、応用方法について知恵を出し合って発展させるということが開催趣旨であった。ソフトに関する話題提供、意見交換という形ですすめられた。「拡散式の基礎・法規制」「各種算出方法の整合」「希釈度解説」「装置導入時での活用事例」「傾斜地における考え方」等、会員それぞれの得意分野について講演された。いろいろ討議されたが、参加者諸氏も含め明確に説明しきれない部分・事項が存在することに気づき、もっと勉強・研究することが必要であることが自覚された。50年程前からこれらの法整備に関わってきた先輩諸氏のご苦勞が偲ばれた。勉強会のあとに開催される懇親会は相かわらず楽しいひと時であった。臭気判定士試験を今年受験する方や一般公開案内より情報を得て参加してくれた方もおられた。このような形でおい問題への関心が少しでも広がることは当会の目的の一つでもあり、大変ありがたい。次回も、多くの方々に関心を持っていただけるようなテーマを検討している。みなさん、ぜひご参加ください。今般は、図らずもシステムを整備した先人の方々の苦勞を僅かですが触れることができた。臭気判定士は率先して与えられたツールを使いこなすことが大事。当シミュレーターは、気象条件などを限定しているので、その適用範囲に限界があることを知ったうえで活用・工夫する。今後はみんなで助言し合いながら活用法を発展・共有させていきたいと思っている。なお、当日使用したPPTと配布資料は当会のホームページ、公開資料に掲載されているのでご覧ください。(横浜市伊藤)



祐川会長の講演